

**タブレット端末の普及推進を  
【モラン・アレサン  
ドロさん】**



モラン・アレサンドロさん

中学校での教育について、今は世界的にパソコンではなくてタブレットの時代になっていきます。子どもたちはみんな興味があるし使い方もわかるので、町から生徒たち一人ひとりにタブレットを貸してあげれば良いと思います。WiFiで先生と生徒たちのタブレットをつなぐことができます。今日は未来のトークなので、今すぐできなくてもいつかのミッションとしてやる。毎日の宿題や夏休みなどの課題はタブレットに送る、そうすれば印刷するお金も少なくなりません。生徒たちはタブレットを通じて宿題を送ったり質問したりできるし、先生も家と

かで空いた時間にチェックしたりできます。最初のお金はかかっても、将来的に今よりお金がかからなくなると思います。

2020年から小学校が1つになります。今ある校舎をリフォームするのかわかしく作るかはわかりませんが、子どもたちがよい環境で勉強できるといいなと思います。

**子どもの遊び場の充実を  
【大和巧実さん】**

高校生の立場からの考えになってしまっていますが、小野町には高校生が遊べる場所がなく、郡山かいわきに行ってしまうので、地元離れにつながってしまうので、小野町にどこか高校生が集まれる場所があればいいと思います。小野高校生はほかの地域から来ている生徒も多いので、親が迎えに来てくれるのを待つ場所がないので気軽に利用できる、勉強とか友達と話したりできるところがほしいと思っています。

**トークテーマ2  
活気にあふれ、賑わい  
を実感できるしごとづくり・新しい人の流れづくり**

**高校生同士の交流を  
【大和巧実さん】**

小野高校では、町の支援を受けながら沖繩の八重山農林高校と交流を進めています。毎年10人の代表生徒が行って小野町や小野高校のPRをするんですが、それだと、自分も交流したかった、というような声も聞かれていますので生徒全員が交流できる機会があればいいなと思います。



大和巧実さん

**SNSを使った知名度アップ作戦を  
【駒木根結衣さん】**

高校生の立場から見ると、日常的にスマートフォンなどの携帯端末を使うことがあって、その中でもSNSを利用する人が多くいるので、小野町の知名度をアップするためにSNSを使っていると小野町の宣伝をすればいいと思います。

リカちゃんキャッスルなどの有名な観光地があるのにそれをポスターなどではない気がするので、SNSを活用すると宣伝につながると思います。大和くんも言っていました、高校生が気軽に行けるファーストフード店とかがあるといいなと思います。スーパーパーのパブリックスペースなどで待っていると、ほかの人が使いづらくなるので、電車の時間や迎えを待っている場所がないので、高校生が帰りに気軽に寄れるお

店とかがあれば、小野町が活気づくことにもなるのかなと思います。



駒木根結衣さん

**子どもたちの過ごせる場所づくり  
【國分小雪さん】**

高校生が遊べる場所があるっていうのは大事だと思います。駅の近くにあるのか。室内で高校生が集まれる場所とか小さい子どもが遊べるような大きい場所があればそこを区切って、子どもや高校生それぞれが過ごせる場所があればいいと思います。Free WiFiと机と椅子、それと自販機くらいがあれば高校生って結構待てるので、そういったスペースくらいなら作れないかなと思います。